

本當にたのしい社会生活をおくれるようになるにはどうしたらよいだろう。

職業のちがいによる社会意識のちがいは、それでもお互いに話しあえば分るといふ面があるけれども、階層（階級をふくむ）のちがいによる意識のちがいは権力が媒介するだけに对立か支配服従か以外に和解の途がうすいように思える。同じ職場、同じ地域でのこの意識の対立を克服するには一体どうしたらよいものだろう。民衆は「井中蛙」から脱皮しなければならぬし、権力者はドンキ・ホーテ的甲冑をぬぎすてねばなるまい。

肉体を感情化するのではなくて、あくまで知性を肉体化する努力こそ必要なのではないだろうか。 — 以上 —

## 會費を納入下さい

三十年度分会費未納者が多く、本誌発刊に多大の支障がありますので、未納の方は本号入手次第 大至急本会あて、会費三〇〇円也を御納入下さい。

常任委員一同

## 編輯後記

本号の原稿は昨年十一月に編輯を完了して印刷屋に渡してあつたが、種々の悪条件が重なつて、発行がこんなに後れたことは、執筆者はもとより、會員諸氏に対して誠に申し訳ありません。次号は既に編輯も終了、すぐ印刷にかゝる段階となつており、鋭意後れをとりもどす積りです。会費未納の方は早急に納入頂き、会の運営を援助下さるよう切に願ひします

(富来)

昭和三十一年二月十五日 印刷  
昭和三十一年二月十五日 発行

年会費

分売は本号に限り 頒価 三〇〇円  
一〇〇円

編輯兼 大分県地方史研究会

發行人 代表者 渡 辺 澄 夫

印刷人 高 井 久 男

大分市上野 電話一七七五

印刷所 三恵印刷株式会社

大分市駄原 大分大学

学芸学部国史研究室内

發行所 大分県地方史研究会

(振替口座下関二五四九番)